News Release

科研製薬株式会社

2021 年 4 月 1 日

報道関係者各位

科研製薬株式会社

女優の武田玲奈さんが
『科研製薬　疾患啓発アンバサダー』に就任

―ワキ汗の悩みの原因となる「原発性腋窩多汗症」の悩み解決を応援しますー

４月１日より武田さんと一緒に多汗症について学ぶ WEB 動画を公開

科研製薬株式会社（代表取締役社長：堀内裕之、本社：東京都文京区、以下「当社」）は、多量のワキ汗で悩んでおられる患者さんに対し、「原発性腋窩多汗症」を啓発する情報提供活動を実施しております。この取組みを推進する「科研製薬　疾患啓発アドバイザー」として、2021 年 4 月 1 日より女優として活躍する武田 玲奈（たけだ れな）さんに活動いただくことになりました。



清涼感のあるイメージで男女問わず高い支持を得る武田玲奈さんが、ウェブサイトやポスター、電車広告、各種メディアなどに登場し、啓発活動を展開してまいります。

本日より、武田さんが出演する多汗症に関する動画コンテンツを、当社が運営するワキ汗の情報・サポートサイト「ワキ汗治療ナビ」ならびに「科研製薬 YouTube 公式チャンネル」にて公開いたします。

患者さんにとって、QOL（クオリティ・オブ・ライフ：生活の質）や仕事、勉強への影響が大きい「原発性腋窩多汗症」ですが、「体質だから仕方ない」とあきらめていたり、様々な治療法があることを知らずに我慢していたりと、病院を受診せずに悩み続けている患者さんが多数いらっしゃいます。そういった患者さんが自身の体に起こっていることや、治療について考えるきっかけをお届けするために、武田さんのお力をお借りし、「原発性腋窩多汗症」のことをお伝えしていきます。

■**動画コンテンツ** 「ワキ汗治療ナビ」内特設サイト、ならびに「科研製薬 YouTube 公式チャンネル」にて公開

・科研製薬 疾患啓発アンバサダー 就任式

当社代表取締役社長 堀内裕之から任命書を授与する武田さんの「科研製薬 疾患啓発アドバイザー」就任式。アンバサダーに就任した武田さんのコメントもあります。

（URL：https://www.youtube.com/watch?v=8VB4evAU1n4）

・ワキ汗のこと、もっと知ってみませんか？ 多汗症セミナー

「多汗症」のガイドライン作成にも参加された池袋西口ふくろう皮膚科クリニック院長の藤本智子先生による「多汗症」についてのセミナーです。武田さんも聞き役として出演しています。

（URL：https://www.youtube.com/watch?v=dxQeYlLjTXc）

・クイズで復習 多汗症 Q&A コーナー

武田さんが回答者となって藤本先生が出題する多汗症についての問題に答えるクイズ企画です。藤本先生の解説を聞きながら、セミナーの内容を復習していきます。

（URL：https://www.youtube.com/watch?v=gqvwwEZVQNY）

・お悩みトーク配信 お話しませんか。“ワキ汗”のこと。

武田さんがライブ配信をしながら、チャットにあげられた視聴者からのワキ汗に関する悩みを取り上げながらコメントしていくという演出の動画です。

（URL：https://www.youtube.com/watch?v=0jIi6ksWMVk）



科研製薬 疾患啓発アンバサダー就任式



多汗症セミナー



Q&A コーナー



お悩みトーク配信 お話しませんか。”ワキ汗のこと”

■ワキ汗の情報・サポートサイト「ワキ汗治療ナビ」

2020 年 11 月 26 日にワキ汗の情報・サポートサイト「ワキ汗治療ナビ」を開設いたしました。
ワキ汗の原因から治療までわかりやすく解説しています。



（URL：https://wakiase-navi.jp/）

■武田　玲奈（たけだ れな）さん プロフィール

1997 年 7 月 27 日生まれ。福島県出身。女優。
数々のドラマや CM、映画、舞台に出演し、幅広く活躍中。



科研製薬は、ワキ汗に対する新たな情報を提供することで、より多くの患者さんのクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献できるものと考えております。

以上

■参考情報

「原発性腋窩多汗症」疾患啓発の背景：

原発性局所多汗症は国内のガイドライン[1]において、「温熱や精神的負荷の有無いかんに関わらず、日常生活に支障をきたす程の大量の発汗を生じる状態」と定義されています。

平成 21 年度厚生労働省難治性疾患克服研究の特発性局所多汗症研究班が実施した疫学調査[2]によると、日本人の「原発性局所多汗症」の有病率は 12.76%でした。年齢別では 25～54 歳の働き盛りの世代で多く、特に 25 歳から 29 歳では 20%を超えています。さらに局所部位別では、ワキが 5.75%と最も高い有病率を示しており、日本人の 20 人に 1 人が「原発性腋窩多汗症」を有するといわれています。

多汗症は、服の汗ジミなど日常生活における悩みにとどまらず、大量の発汗のために人前に出られない、大勢の前で話せないなど対人関係に及ぼす影響も多大です。そのため、仕事や勉学にも影響を及ぼし、労働生産性を約 48%、勉学生産性を約 46%、それぞれ低下させるとの報告もあります[3]。また、皮膚科外来を受診した 2017 名を対象に行われた調査では、「原発性腋窩多汗症」患者さんの場合、多汗症ではない者に比べて不安障害やうつ症状を有する割合が高いことも明らかになりました[4]。

1 日本皮膚科学会ガイドライン：原発性局所多汗症診療ガイドライン 2015 年改訂版
2 Fujimoto T, Kawahara K, Yokozeki H. Epidemiological study and considerations of primary focal hyperhidrosis in Japan: from questionnaire analysis. J Dermatol 2013; 40: 886–90.
3 厚生労働科学研究費補助金：難治性疾患克服研究事業 特発性局所多汗症の疫学調査、脳血流シンチの解析による病態解析及び治療指針の確立 平成 21 年度 総括・分担研究報告書
4 Bahar R, Zhou P, Liu Y, Huang Y, Phillips A, Lee TK, et al. The prevalence of anxiety and depression in patients with or without hyperhidrosis (HH). J Am Acad Dermatol. 2016; 75: 1126-33

【本件に関するお問合せ先】

科研製薬株式会社
総務部広報グループ
TEL：03-5977-5002
FAX：03-5977-5131
e-mail:koho@kaken.co.jp